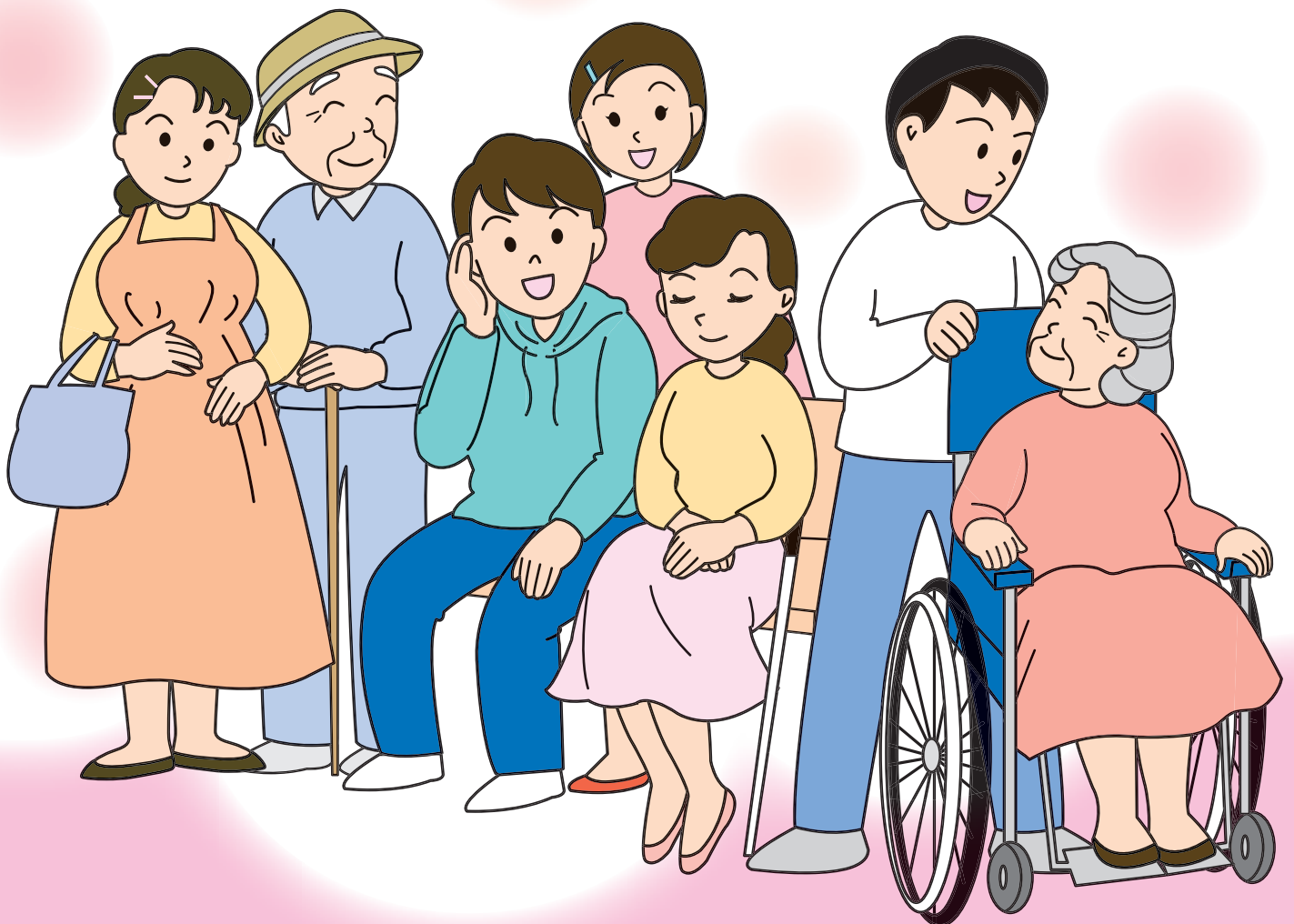


だれもが<sup>ある</sup>歩きやすい

まちを<sup>め</sup>目指して<sup>み</sup>

～<sup>こころ</sup>心のバリアフリーハンドブック～



府中市

さいきん ある でんしゃ の き  
最近、まちを歩いたり電車やバスに乗っていて気がつくことはありませんか？  
ほ どう き いろ せんじょう てんじょう とつき つ し かくしょうがいしゃゆうどうよう  
歩道に黄色くて線状や点状の突起が付いた視覚障害者誘導用  
ブロックが敷いてあったり、駅にエレベーターが付いていたり、電車  
なか つぎ ていしゃえき し でんこうひょうじ つ  
の中に次の停車駅などを知らせる電光表示が付いていたり、バスの床が  
ひく おんきょう で しんごう き  
低くなっていたり、音響の出る信号機があったり・・・。

これらの設備は、いろいろな人が歩道を歩いたり、交通機関などを利  
よう せつ び ひと ほ どう ある こうつう き かん り  
用しやすくするために、少しずつ整備されているものです。

しかし、これらの設備が整備されれば、だれもが歩きやすいまちにな  
るかということ、それだけでは不十分です。

まちを歩く人の中には、高齢者や障害のある人など様々な人がいます。  
あ る ひと なか こうれいしゃ しょうがい ひと さまざま ひと  
そういう人達がまちを歩く時にどのようなことで困っているのかを理解  
ひとたち ある とき こま り かい  
することや、それを解消するために作られている施設や設備の意味をみ  
かいしょう つく しせつ せつ び い み  
んなが理解することが大切です。

そこで、府中市では、市民の皆さんが、高齢者や障害のある人に対す  
ふちゅうし し じん みな こうれいしゃ しょうがい ひと たい  
る理解を深め、簡単な手伝いや心配り、コミュニケーションができるよ  
り かい ふか かんたん てつだ こころくば  
うに、このハンドブックを作成しました。

このハンドブックを参考に、互いのことを理解しあい、困っている人  
さんこう たが り かい こま ひと  
には声をかけて手助けするとともに、手助けに対する感謝の気持ちを忘  
こえ て だす て だす たい かんしゃ きもち わず  
れないようにしましょう。



# 1 障害を理解しましょう！！

まちを歩く人の中には、視覚に障害のある人、聴覚や言語に障害のある人、  
肢体の不自由な人、内部障害のある人など様々な人がいます。

## (1) 視覚に障害のある人

視覚に障害のある人の中には、全く見えない人、  
視力の弱い人、見える範囲が狭い人などがいます。

これらの人は白杖（白い杖）で前方確認しながら  
歩いたり、盲導犬やガイドヘルパーと一緒に  
動している人もいます。また、音や匂い、周りの人  
の気配などを感じ取って歩いています。



## (2) 聴覚や言語に障害のある人

聴覚や言語に障害のある人の中には、全く聞こえ  
ない人、聞こえにくい人、言語の障害を伴う人と伴  
わない人がいます。これらの人は、文字や図、手話  
などを見て情報を得ています。



## (3) 肢体の不自由な人

肢体不自由のある人の中には、上肢（腕）や下肢  
（脚）に障害がある人、座ったり立ったり同じ姿勢  
を保つのが難しい人、身体にマヒのある人などがい  
ます。これらの人は、杖をついて歩いたり、車いす  
を使って移動しています。

## (4) 内部障害のある人

心臓、腎臓、呼吸器、膀胱・直腸、小腸、免疫の  
機能障害のことをまとめて内部障害と呼びます。こ  
れらの障害のある人の中には、疲れやすかったり、  
何らかの生活補助器具を使用している人もいます。



## 2 こんなことで困っています

障害の部位や程度によって、まちを歩く時に困ることには違いがあります。  
また、障害の部位が同じでも、人によって困ることには違いがあります。

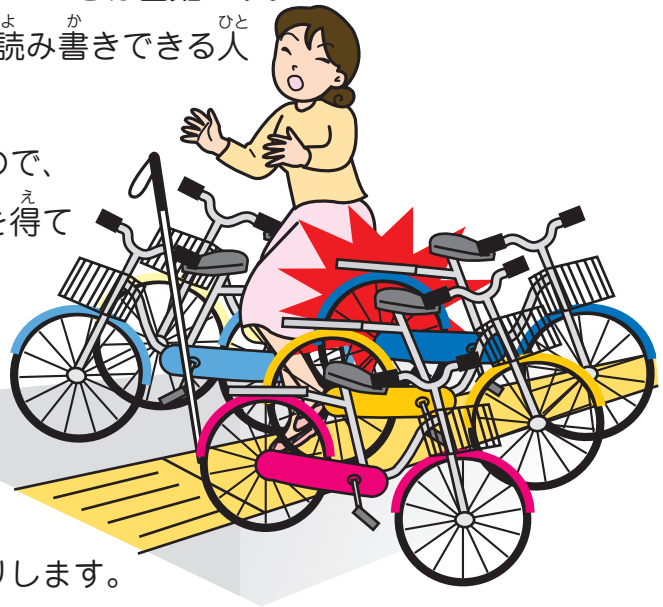
### (1) 視覚に障害のある人

慣れていない場所では一人で移動することは困難です。

文字の読み書きが困難です。(点字で読み書きできる人もいます。)

目で見て情報を得ることが困難なので、音を聞いたり手で触るなどして情報を得ています。

歩車道の境がわからなかったり、歩道上に置かれた障害物(自転車、看板、商品など)の存在に気づかずにぶつかってしまったり、駅やバス停の場所がわからず迷ってしまったりします。

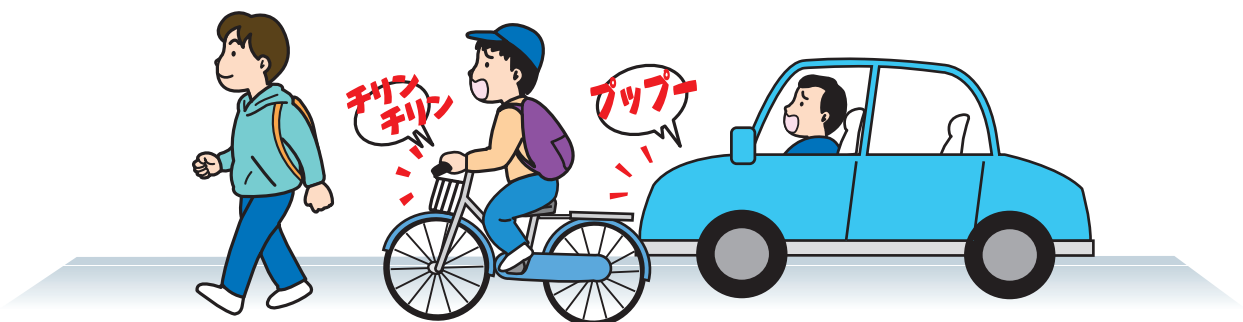


### (2) 聴覚や言語に障害のある人

音を聞いて情報を得ることが困難なので、コミュニケーションを取るには、手話、筆談、口話などが必要です。

外見からは言葉を聞取ることや言葉を話すことが不自由だということからわからないので、まわりの人からは、話しかけても答えてくれないなど、誤解されてしまうことがあります。

道路を歩いていて車や自転車が接近する音が聞こえなかったり、電車が故障で止まってしまっても、車内放送が聞こえなかったり、周りの人に聞くことができなかったりして、なぜ止まっているのかわからず不安になったりします。



したい ふじゆう ひと  
(3) 肢体の不自由な人

なが じかんある かいだん きゆう さか いたう こん  
長い時間歩いたり、階段や急な坂を移動するのが困  
なん  
難です。

くるま しょう ひと おお だんさ すきま の こ  
車いすを使用する人は、大きな段差や隙間を乗り越  
えることが困難で、手の届く範囲も限られます。

かた ひと て からだ ささ としき かたほう  
片マヒの人は、手すりで身体を支える時も、片方の  
て  
手でしか支えられません。

ある じかん ほ どうじょう  
歩くのに時間がかかったり、歩道上のちょっとした  
でこぼこ つまづいたり、一人ではホームから電車に乗り  
こ  
込めなかったりします。



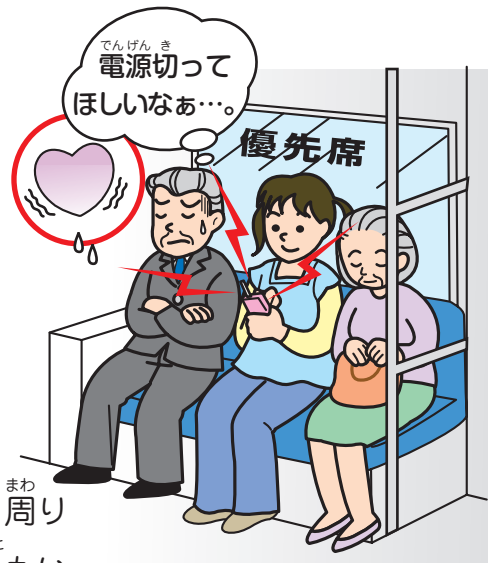
ない ぶしょうがい ひと  
(4) 内部障害のある人

しんぞう き のうしょうがい じょさいどうき い か  
心臓機能障害でペースメーカーや除細動器（以下  
しんぞう  
「心臓ペースメーカーなど」といいます。）

うめこ ひと かいだん ほ どうきょう のぼ  
を埋め込んでいる人は、階段や歩道橋などの昇り  
お くる でん じ は えいきょう しんばい  
降りが苦しかったり、電磁波の影響を心配して、  
でんしゃ ゆうせんせき いちばんはし すわ ひと  
電車の優先席の一番端に座るようにしている人も  
います。

ちよくちよう ぼうこう き のうしょうがい じんこうこうもん じんこうぼうこう  
直腸や膀胱の機能障害で人工肛門や人工膀胱を  
ぞうせつ ひと はいせつぶつ しょうり  
造設している人(オストメイト)は、排泄物を処理  
できるトイレがあるかどうか心配です。

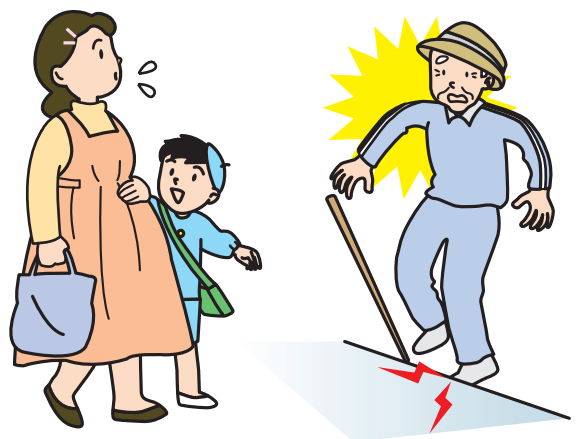
がいけん しょうがい まわ  
外見からは障害があることがわからないため、周り  
ひと りかい かん ひと  
の人に理解をしてもらえず、ストレスを感じる人も  
います。



ひと  
(5) そのほかの人

こうれいしゃ ある おそ  
高齢者は歩くスピードが遅かったり、つま  
さき あ だんさ  
先が上がりにくくなって、ちょっとした段差  
でこぼこ  
や凸凹でつまずきやすくなったりします。

にんしんちゆう ひと あしもと み だん  
妊娠中の人は、足元が見えないので、段  
さ  
差などにつまずきやすいので、いつも注意  
ぶか ある  
深く歩いています。



### 3 知っていますか？

まちを歩いているときに<sup>ある</sup>見たり<sup>み</sup>聞いたりするいろいろなもの、<sup>は</sup>果たしてどんな意味があるか知っていますか？

#### (1) 白杖

身体障害者福祉法では「盲人安全つえ」と呼ばれている白い杖で、視覚に障害のある人が外出する際に使うものです。



#### (2) 視覚障害者誘導用ブロック

歩道や駅などに敷かれている線状や点状の突起のついたブロックで、視覚に障害のある人が歩く際に、移動方向を指示したり、危険箇所を知らせ注意を促すためのもので、大切な情報源となっています。



#### (3) 横断歩道部の歩車道の段差

横断歩道部の歩道と車道の境の多くは2センチ程度の段差があります。視覚に障害のある人が安全に歩くためには、白杖や足裏で歩車道の境を認識する必要があります。

そのためには段差が必要ですが、車いすや杖などを使って移動する人には、大きな段差は障害になってしまいます。そこで2センチの段差が標準とされています。



(4) 点字

点字とはタテ3点、ヨコ2点の六つの点の組合わせで文字を表すもので、指先でその突起に触れて文字を読むものです。視覚に障害のある人の中には、点字を読み書きして情報のやりとりをしている人もいます。

案内板や階段の手すりなどの点字標示は、視覚に障害のある人の大切な情報源になっています。



(5) 誘導チャイム

公共施設の入口や駅などで耳にする「ピン・ポーン」などの音は、視覚に障害のある人に場所を知らせるためのチャイムです。



(6) 耳マーク

このマークは、聞こえが不自由なことを表す「耳マーク」です。ゆっくり話したり、筆談や手話でやりとりするなどの配慮が必要です。

(7) バリアフリー対応型信号機

視覚に障害のある人が安全に横断歩道を渡れるように、音響で歩行者青時間を知らせる信号機や、高齢者や車いすを使っている人のために、歩行者青時間を延長できる信号機などがあります。



(8) 自転車歩道通行可標識

この標識は、自転車が通行しても良い歩道を知らせる標識で、自転車は歩道の車道寄りの部分を走らなければなりません。

また、歩行者を優先し、すぐに止まれる速度で走らなければいけません。



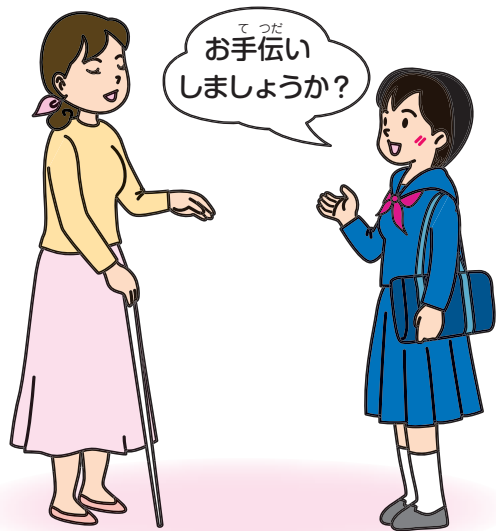
## 4 おも たいせつ 思いやりが大切です

だれもが歩きやすいまちにするために、相手の立場にたった思いやりを大切にしましょう。

(1) 歩道上に自転車や看板、商品などを置くのはやめましょう。  
特に、視覚障害者誘導用ブロックの周りに置くのは絶対にやめましょう。

(2) 自転車で歩道を通行する時は、歩行者の通行を優先し、迷惑にならないよう、ゆっくり走りましょう。(歩道は、視覚に障害があって白杖で前を確認しながら歩いている人、聴覚に障害があって自転車の接近やベルの音が聞こえない人など、様々な人が歩いています。)

(3) 白杖を持っている人が立ち尽くしていたり迷っているように見えたら、「お手伝いしましょうか」などと声を掛けて、どのような手助けが必要か確認しましょう。この時、杖や手を引張ってはいけません。

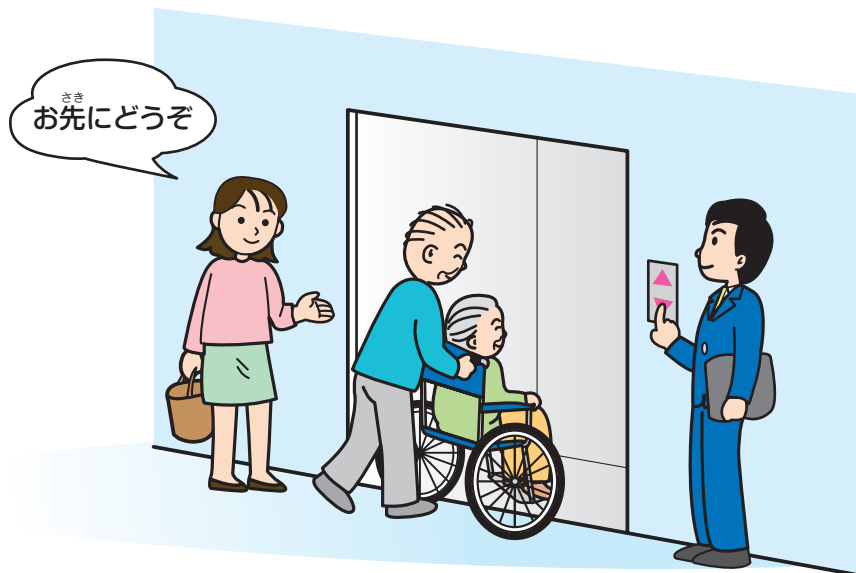


(4) 高齢者は、階段の昇り降りや歩く速度が遅いので、そのことを理解して接しましょう。

(5) 聴覚に障害のある人に手助けを求められたら、メモを書いたり、身振り手振りなどでコミュニケーションをとりましょう。(手話だけが情報伝達の手段ではありません。)



(6) 電車やバスの乗降り、座席の利用、エレベーターの乗降りは、高齢者や障害者、妊娠している人など、移動に制約のある人を優先しましょう。



(7) 電車やバスの優先席付近では、心臓ペースメーカーなどを使用している人に配慮して、携帯電話の電源を切りましょう。

(携帯電話などの電波が心臓ペースメーカーなどに及ぼす影響については、「装着部位から22センチ程度以上離すこと」で避けることができると言われていますが、携帯電話が作動している近くにいる時に気分が悪くなる人もいます。)

(8) 電車やバスで視覚に障害のある人を見かけたら、声をかけたうえで、空いている席に誘導してあげましょう。

(9) 券売機の前やトイレなど列になって並んでいるところでは、視覚に障害のある人がぶつかってしまうことがあります。これは、周りの状況がわからないためなので、並んでいる位置を教えてあげましょう。

(10) エスカレーターでは手すりを利用し、歩かずに立ったまま乗りましょう。

(片マヒの人や杖を使っている人は、片方の手でしか手すりにつかまることができません。どちらの手でつかまることができるかは人によって違います。)

(11) 「多機能トイレ」や「だれでもトイレ」と呼ばれるトイレは、障害者、高齢者、妊娠中の人、乳幼児を連れた人の利用を優先しましょう。(内部障害のある人の中には、外見からでは障害があることがわからない人もいますが、このトイレを必要としている人がいることも理解しましょう。)

## 5 バリアフリー化を図るための設備などにはこんなものがあります



勾配を少なく平坦にした歩道

視覚障害者誘導用ブロックを連続して敷いた歩道



駅のエレベーターと運行情報装置

バリアフリー対応型券売機と点字運賃表

- ・・・視覚に障害のある人でも利用できる券売機と、運賃を点字で表示した運賃表



しよくち そうごうあんないばん  
 触知総合案内板

- ・ ・ ・ 視覚に障害のある人でも駅構  
 内の設備の位置などを確認で  
 きるよう、凹凸や点字での説  
 明がついた案内板



はばひろじ どうかいさつき  
 幅広自動改札機

- ・ ・ ・ 車いすを使用している人や大  
 きな荷物を持った人でも利用  
 できるよう、通路幅を広くし  
 た自動改札機



じょう ゆうせんせきひょうじ ゆうせんせき  
 ホーム上の優先席表示と優先席



でんしゃない <くるま  
電車内の車いすスペース

- ・ ・ ・ 車いすを使用する人のための  
スペース



しゃないでんこうひょうじ ばん  
車内電光表示板

- ・ ・ ・ 次の停車駅などの情報を知らせる表示板で、聴覚に障害のある人にも情報を伝えることができます。



ほこう ろひょうしき  
歩行路標識シール

- ・ ・ ・ 視力の弱い人が階段の段差を識別しやすくするためのシール



## ノンステップバス

- ・・・乗降口の高さが30センチで、ステップを無くして乗降りしやすくしたバスで、車いすを使用する人にも使いやすくなっています。



## 多機能トイレ

- ・・・車いすを使用する人、子ども連れの人、オストメイトの人などでも使いやすいよう、手すり、ベビーチェア、洗浄水栓などを備えています。

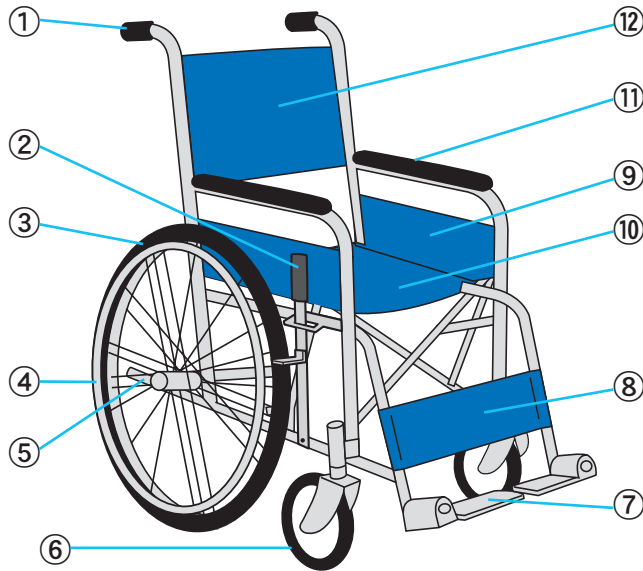


身体障害者・オストメイト・乳幼児用の設備を備えたトイレを示しています。

## 6 障害者を援助するために

### (1) 標準的な車いすの構造と車いす使用者への介助方法

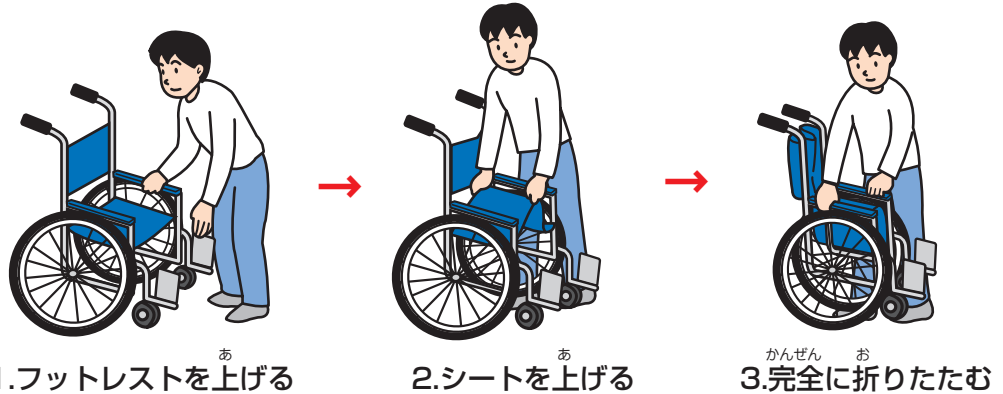
#### 【車いすの各部の名称】



- ①ハンドグリップ=介助者用にぎり
- ②ブレーキ
- ③大車輪 (後輪)
- ④ハンドリム=車輪をまわすところ
- ⑤ステッピングバー=階段を上るとき使う
- ⑥キャスター (前輪)
- ⑦フットレスト=足をのせる部分
- ⑧レッグレスト
- ⑨スカートガード=がわあて
- ⑩シート
- ⑪アームレスト=ひじかけ
- ⑫バックレスト=背もたれ

#### ■たたみ方・ひろげ方

##### ・たたみ方



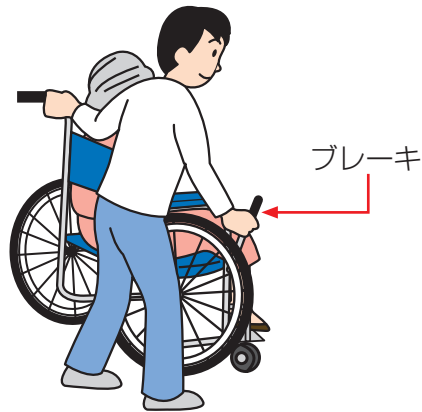
##### ・ひろげ方



くるま し ようしゃ かいじょほうほう  
【車いす使用者への介助方法】

■ ブレーキのかけ方

1. 車いすの横に立つ。
2. 片手でハンドグリップを握り、  
もう一方の手でブレーキをかける。
3. 反対側のブレーキをかける。



■ 坂道

くだ さか さか まえむ お  
下り坂は、ゆるやかな坂であれば前向きに下りますが、急な坂道では後ろ向きで下るとよいでしょう。



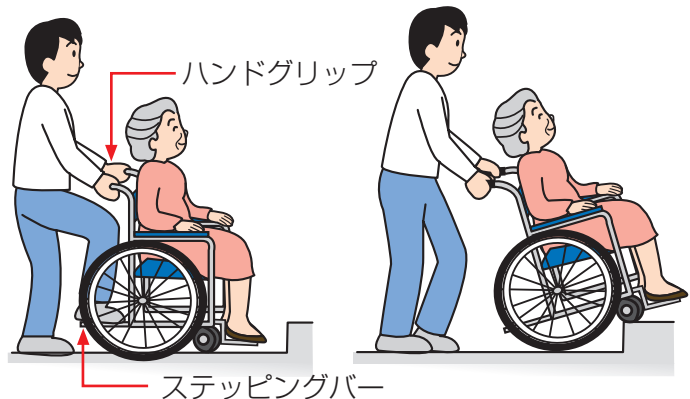
■ 段差

・段差を上がる時

1. ステッピングバーを踏む。
2. キャスターを段にのせる。
3. 大車輪を押し上げる

・段差を下りるとき

1. 後ろ向きで大車輪を下ろす。
2. キャスターを上げ、後ろに引く。
3. キャスターを下ろす。

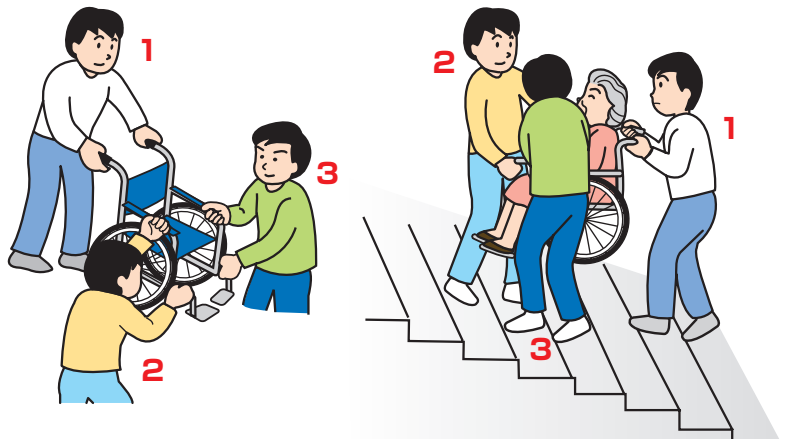


■ 階段

かいだん のぼ お かいじょ ひとり むり  
階段の上り下りの介助は1人では無理です。

さいてい ふたり りそうてき よにん かいじょしゃ ひつよう  
最低でも2人、理想的には4人の介助者が必要です。

1. ブレーキをかける。
2. 各人は図に示す位置をしっかりと握る。
3. 声をかけあい、車いすを持ち上げ、歩調を合わせ、ゆっくりと上り下りする。



※駅のホームで待機する時は、車いすが線路に落ちないように、線路に平行に止めてブレーキをかけましょう。

## (2) 視覚に障害のある人への介助の方法

### ■ 声をかけること

まず視覚障害者に接するとき最も大事なことは、声をかけることです。たとえば「お手伝いしましょうか・・・」とか「ご案内しましょうか・・・」のように声をかけてください。

### ■ 誘導の仕方

視覚障害者を誘導するときは、あなたの肩または肘などにつかまらせてください。

「階段です。」

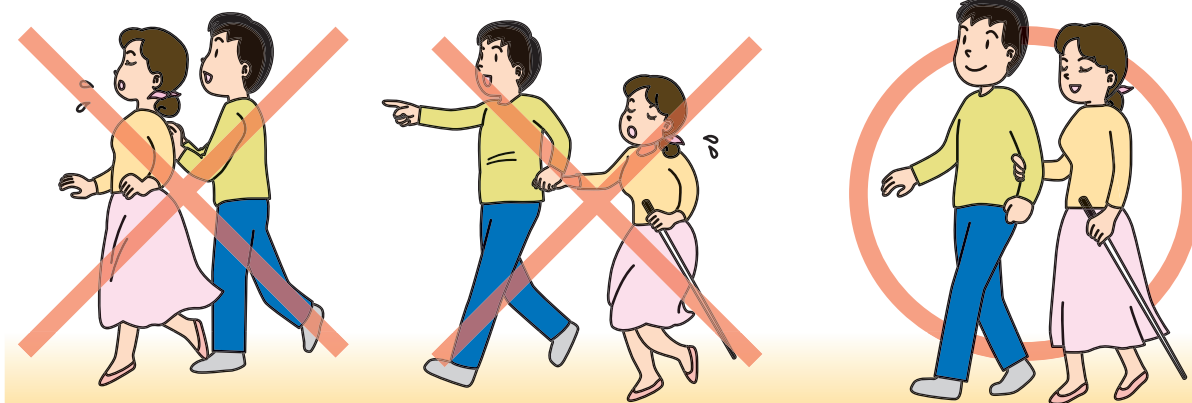
「物が置いてあります。」など、声をかけ、説明しながら誘導してください。特に、電柱などを避ける際は一列になり、視覚障害者がぶつからないよう気をつけてください。

誘導するときにはしてはいけないことは、

1. 背中や肩を後ろから押す
2. 本人の歩調を無視して腕をつかんで強引に引っ張る
3. 白杖をつかんで引っ張る

などです。

基本的な組み方



### ■ 言葉づかい

1対1で話しているときには、あまり問題はないのですが、数人で話し合いをしているときや長いすで順番を待っているような場合に、「次の方」「その隣の方」と言われても、視覚障害者にはどのくらいの方が周囲にいるのか状況をつかめないのが、反応のしようがありません。必ず名前を呼ぶか、あるいは、視覚障害者の前に立って声をかけてください。

ほうこう しじ しかくしょうがいしゃ いち ちゅうしん さゆう ぜんご なん  
 方向を指示するときは、視覚障害者の位置を中心に左右あるいは前後へ何メートルま  
 たは、なんぼ せつめい  
 たは、何歩ぐらいというように説明してください。

つくえ うえ いかい せつめい しかくしょうがいしゃ てまえ とけい  
 テーブルや机の上などにあるものの位置を説明するときは、視覚障害者の手前を時計  
 の6時の位置として12時、3時、9時というようにほうこう しじ  
 方向を指示してください。またこの  
 ときかろ ゆびさき もの ふ わ  
 時軽く指先などで、物に触れてもらうとより分かりやすくなります。

## ■ 盲導犬に出会ったときには

ハーネス（胴輪）をつけているときは仕事中です。呼んだり、なでたり、くちぶえ ふ  
 たり、手を出したりしないでください。

しゅじん もうどうけん あいだ ことば きも か たいせつ ぜったい  
 ハーネスは主人と盲導犬との間で言葉や気持ちを交わすための大切なものです。絶対  
 にさわらないでください。

## 点字の読み方

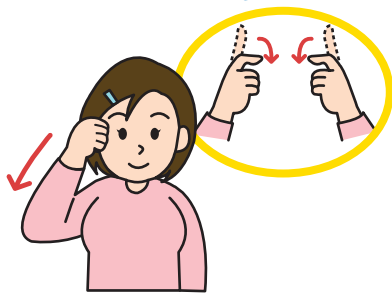
●- ●- ●● ●● -●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
ア イ ウ エ オ	ガ キ グ ゲ ゴ	ザ ジ ズ ゼ ゴ	ダ デ ツ デ ド	バ ビ ブ ベ ボ
●- ●- ●● ●● -●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
カ キ ク ケ コ	ザ ジ ズ ゼ ゴ	ダ デ ツ デ ド	バ ビ ブ ベ ボ	ナ ニ ヌ ネ ノ
●- ●- ●● ●● -●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
サ シ ス セ ソ	ダ デ ツ デ ド	バ ビ ブ ベ ボ	ナ ニ ヌ ネ ノ	ハ ヒ フ ヘ ホ
●- ●- ●● ●● -●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
タ チ ツ テ ト	バ ビ ブ ベ ボ	ナ ニ ヌ ネ ノ	ハ ヒ フ ヘ ホ	マ ミ ム メ モ
●- ●- ●● ●● -●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
ナ ニ ヌ ネ ノ	バ ビ ブ ベ ボ	ハ ヒ フ ヘ ホ	マ ミ ム メ モ	ヤ ユ ヨ
●- ●- ●● ●● -●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
ハ ヒ フ ヘ ホ	バ ビ ブ ベ ボ	ハ ヒ フ ヘ ホ	マ ミ ム メ モ	ラ リ ル レ ロ
●- ●- ●● ●● -●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
マ ミ ム メ モ	バ ビ ブ ベ ボ	ハ ヒ フ ヘ ホ	マ ミ ム メ モ	ワ ラ
●- ●- ●● ●● -●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
ヤ ユ ヨ	バ ビ ブ ベ ボ	ハ ヒ フ ヘ ホ	マ ミ ム メ モ	長音符
●- ●- ●● ●● -●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
ラ リ ル レ ロ	バ ビ ブ ベ ボ	ハ ヒ フ ヘ ホ	マ ミ ム メ モ	促音符
●- ●- ●● ●● -●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
ワ ラ	バ ビ ブ ベ ボ	ハ ヒ フ ヘ ホ	マ ミ ム メ モ	「」カギ
●- ●- ●● ●● -●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
ン	バ ビ ブ ベ ボ	ハ ヒ フ ヘ ホ	マ ミ ム メ モ	( )カッコ
●- ●- ●● ●● -●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
ン	バ ビ ブ ベ ボ	ハ ヒ フ ヘ ホ	マ ミ ム メ モ	句点 (。)
●- ●- ●● ●● -●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●	-●- -●- -●● -●● -●●
ン	バ ビ ブ ベ ボ	ハ ヒ フ ヘ ホ	マ ミ ム メ モ	読点 (、)

(3) 聴覚に障害のある人とのコミュニケーションの方法

聴覚障害者とのコミュニケーション手段には、手話、筆談、口話、身振りなどがあります。相手に通じる方法で自分のできる手段を使って、交流しましょう。

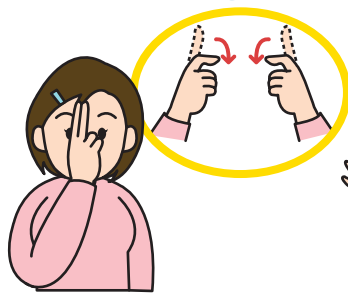
聴覚障害者に話しかけるときは、正面からゆっくり、はっきりと話しかけてください。そうすることで、口の形を見て言葉を読み取る「読話」や「手話」を読み取りやすくします。

おはよう



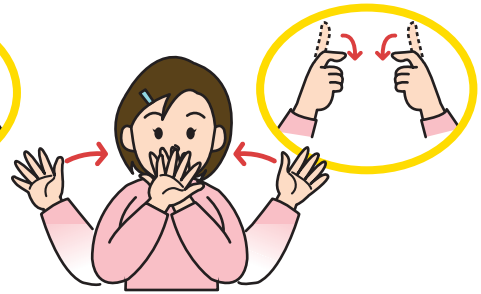
朝（枕をはずす形）  
+ あいさつ（両手の人さし指であいさつ）

こんにちは



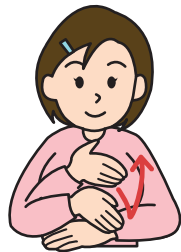
正午（人さし指と中指を2本立て、額にあてる）  
+ あいさつ

こんばんは



夜（両手の平を前に向け交差させる）+ あいさつ

ありがとう



左手の甲に、右手を垂直にトントンとあて、上げる。

お願いします



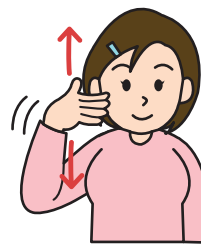
右手の手のひらを左に向け顔の前におき、下げる。

私は



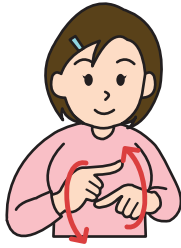
人差し指で、鼻もしくは胸をさす。

聞こえません



耳の横で手の平を下にして、指先を上下に振る。

### 手話



へいこう しょうてい ひとさ  
平行においた両手人差し  
ゆび かいてん  
指を回転させる。

### 筆談



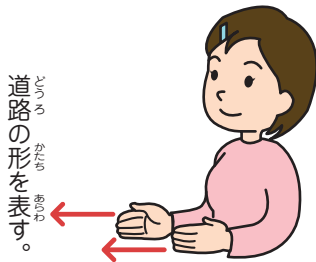
ひだりて て うえ む  
左手の手のひらを上に向  
けて体の前に置き、その  
うえ みぎて もじ か  
上に右手で文字を書く。

### 時間



みぎて ひとさ ゆび さき ひだり  
右手の人差し指の先を、左  
の手首に置く。

### 道路



道路の形を表す。

しょうてい て む  
両手の手のひらに向かい  
あわせて、前に動かす。

### 歩く



指を足に見立て、  
人が歩く様子を  
表す。

みぎて ひとさ ゆび なかゆび  
右手の人差し指と中指を  
交互に動かしながら、前に  
出す。

### 電車



右手はパンタグラフ、  
左手は電線を表す。

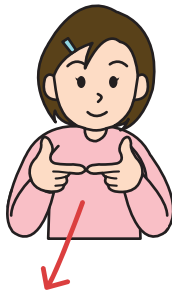
みぎ ひとさ ゆび なかゆび ま  
右の人差し指と中指を曲  
げて、左の人差し指と中指  
につけ、2回前に動かす。

### 駅



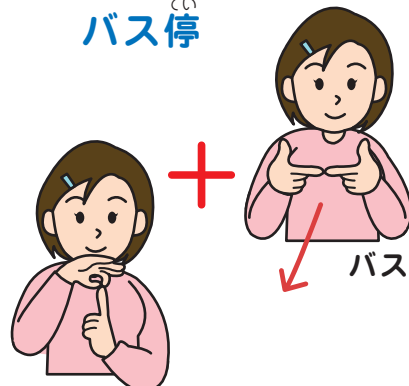
うわむ ひだりて みぎて  
上向きにした左手を右手  
の親指と人差し指ではさ  
む。

### バス



しょうてい おやゆび ひとさ ゆび  
両手の親指と人差し指を  
のばして並べ、同時に前  
に出す。

### バス停



ていりゅうじょ  
停留所

「停留所」はバス停の  
着板の形から。

おやゆび ひとさ ゆび なら  
親指と人差し指を並べて  
前を出してから、左の指  
の上に丸をおく。

このハンドブックの作成にあたっては、府中市老人クラブ連合会、府中視覚  
障害者福祉協会、府中市身体障害者福祉協会、府中市聴覚障害者協会、府中市  
肢体不自由児者父母の会、府中オストメイトの会、日本心臓ペースメーカー友  
の会西東京支部府中地区、東日本旅客鉄道株式会社八王子支社、京王電鉄株式  
会社、京王電鉄バス株式会社、京王バス中央株式会社、府中警察署のご協力を  
いただきました。

平成18年2月発行

府中市都市整備部土木課

電話 (042) 335-4349 FAX (042) 335-0499

府中市福祉保健部地域福祉推進課

電話 (042) 335-4161 FAX (042) 335-7802

〒183-8703 東京都府中市宮西町2丁目24番地

ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



④ほっとするね緑の府中

府中市